

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

平成26年4月23日

大阪市立自然史博物館
大阪市立長居植物園

電話：06-6697-6224（自然史博物館）

自然史博物館・長居植物園 40周年記念展示

恐竜戦国時代の「エサ」?! -化石と長居植物園で知る植物の進化-

恐竜が食べたかもしれない植物に触ってみよう！

中生代には色々な恐竜が栄えましたが、「エサ」となった植物があったからこそ植物食恐竜は栄えました。そして、植物食恐竜が栄えたからこそ、肉食恐竜も栄えたと言えます。植物があつてこそ、恐竜だけでなく、地球の生物は存在できたのです。

今回の展示では、恐竜のエサとなった植物化石の他、地球最古の陸上植物から、現在栄えている被子植物までの化石を展示し、化石をもとに、5億年の植物の進化をたどります。また、自然史博物館がある長居植物園には、恐竜が生きていた時代に栄えた植物の子孫（イチョウ、ソテツ、アロウカリアなど）が植えられています。メタセコイア、セコイア、ユリノキなどの、化石として日本からは見つかりませんが、日本列島からは消滅した植物も植えられています。

化石と長居植物園の植物を通して、恐竜戦国時代の「エサ」、植物の歴史、太古の時代の森に思いを巡らせていただければと思います。

身の回りには、恐竜戦国時代の「エサ」はたくさんあります。大阪の御堂筋はイチョウ並木で有名ですが、「恐竜時代の並木道」と言えます。また、茶碗蒸しは、中生代フードと言えます。このような面白い話題も紹介します。

会期中には、「恐竜戦国時代の^{はしや}**覇者**！ トリケラトプス ～知られざる大陸ララミディアでの攻防～」を開催中です。植物の進化と植物食恐竜であるトリケラトプスの歴史も堪能していただければと思います。



アロウカリア（裸子植物）：触ってみよう！恐竜が
この木のマツボックリを食べていたかもしれない！

I. 主な展示内容（☆印がついた化石は、一緒に子孫（現生の植物）も展示します）

クックソニア（シダ植物）：生きていた姿がわかっている地球最古の植物化石：古生代デボン紀、約3億9000万年前、イギリス、長さ約6.5 cm。



復元模型：高さ6 cm。最初の陸上植物は葉がありませんでした。茎で光合成をしていたと考えられます。



☆カラミテス（シダ植物）：直径10cmもあったツクシの祖先古生代には、直径30 cm、高さ10 mにもなる「ツクシの仲間」がありました。古生代石炭紀、約3億3000万年前、アメリカ、直径10 cm。



☆アロウカリア（裸子植物）：触ってみよう！恐竜がこの木のマツボックリを食べていたかもしれない！

直径1.1メートルの大きな幹の化石です。触れる化石として展示します。中生代三畳紀、約2億3000万年前、アメリカ、重さ970 kg。（写真は1ページ目のものです）

☆アロウカリア（裸子植物）：美しい！石になったマツボックリ

火山灰に埋もれ珪酸分がしみ込んで、マツボックリの内部を置き換えて、石になった化石の縦断面です。種子の芽になる部分まで美しく保存されています。中生代ジュラ紀、約1億7000万年前、長さ6 cm。



☆**メタセコイア（裸子植物）**：ヒノキ科の植物で、枝に小さな葉がたくさん付いているのがメタセコイアです。大阪付近では、約 70 万年前まで生存していました。生きている化石として有名です。新生代新第三紀、約 2000 万年前、岐阜県、枝の長さ約 10 cm。



☆**ユリノキ（被子植物）**：モクレン科の植物で、春にチューリップに似た花を枝の先に付けます。葉の形が衣類の半纏（はんてん）に似ているので、ハンテンボクの名前もあります。日本列島からは消滅し、現在は中国と北アメリカに分布しています。新生代新第三紀、約 600 万年前、鳥取県、長さ約 10 cm。



御堂筋は恐竜時代の並木道

大阪の御堂筋はイチョウ並木で有名ですが、「恐竜時代の並木道」と言えます。植物食恐竜がいたら、歩きながら葉や銀杏を食べたでしょう。

茶碗蒸しは、中生代フード

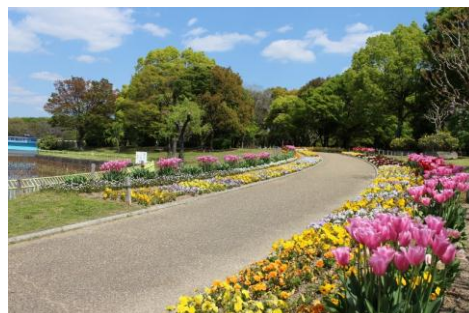
銀杏を食べる時は植物食恐竜になった気分を味わえます。さらに、鳥は恐竜の生き残りですので、鶏肉と生地の玉子を食べる時は肉食恐竜になった気分を味わえます。

II. 太古の森を体感できる長居植物園

長居植物園には、恐竜のエサとなった植物の子孫や、日本列島からは消滅してしまった植物が植えられています。太古の森のエリアもあります。化石と生きている植物を見て、過去の森の様子を想像してみましょう。植物園内の樹木にも、「恐竜のエサとなった植物」、「日本列島からは消滅した植物」の表示をします。



メタセコイアやヌマスギなどの太古の森



日本から消滅した植物もたくさん植えられています。

Ⅲ. 開催概要

1. 名 称 自然史博物館・長居植物園 40周年記念企画
恐竜戦国時代の「エサ」?! -化石と長居植物園で知る植物の進化-
2. 会 期 平成26年4月26日(土)～5月25日(日)
※休館日：毎週月曜日(4月28日、5月5日は開館)、5月7日(水)
※開館時間：9:30～17:00
3. 会 場 花と緑と自然の情報センター2階 アトリウム
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
4. 主 催 大阪市立自然史博物館・大阪市立長居植物園
5. 料 金 無料(ただし、長居植物園への入園および特別展「恐竜戦国時代の覇者！
トリケラトプス ～知られざる大陸ララミディアでの攻防～」への入場
には別途料金が必要です)
6. 広報および広報用画像に関する問い合わせ
大阪市立自然史博物館 学芸課 塚腰・総務課(広報) 長縄
TEL：06-6697-6224
HP：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
MAIL：naganawa@ocmo.jp (長縄)

特別展「恐竜戦国時代の覇者！トリケ
ラトプス ～知られざる大陸ララミ
ディアでの攻防～」公式HP
<http://triceratops-ex.com/>

